

【22_093/技術系メルマガ】『共感』と『理解』を区別する事

〇〇さん

こんにちは！クロガキ(クロ)です。

仕事でも、トレードでも、持っている力を最大限発揮する為には
ただがむしゃらに「頑張るぞー！」と気合だけ入れててもダメですよ。

これではタダの「無計画な根性論」です。

Twitterではこの手のエモーショナルな呟きに 共感 が集まりがちですが
そもそもなぜそうなるのか？トレードの『技術習得』にフォーカスして
持てるパフォーマンスを最大・効率化するには、どのように意識を変えていけばいいのか
今日はそんな話をまとめてみようと思います。

┌
└■ 情報に対して「共感」ではなく『理解』を軸とする
└──────────────────┘

「頑張って皆で稼ごうぜ！」「FXで成功しようぜ！」という掛け声に共鳴するのは
【お金を稼ぎたい】という目的の共有であり、気持ちを盛り上げるものなので
これは「共感」の部類に入ります。

もちろん、これはこれでモチベーションの維持・向上に役立つので有用なのですが
大事なのはここから、『では、どうするのか？』を考える事。

要は、目的を達成するための“筋道”を考える事であり、それが実行可能か？を現実的に考える
事

これが『理解』です。

以前、この辺の要点をツイートしたことがあるのですが

改めて見返すと、これも「共感」と『理解』を区別する事の重要性を再確認させてくれます。

▼当時のツイート▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1491659711820840962>

つまり、今自分の行動を見返して、それが「共感」に基づくものなのか

『理解』したうえでのアクションなのか？

その区別を明確にする事が、情報に対する取捨選択力を高める事にも繋がってきます。

今日のメルマガをあえて【技術系】に括ったのも、この考え方は日々の情報収集における『技術』
と言えるからです。

トレードにおいて情報を集める際、『理解と実践』にフォーカスする為には

目にした情報が「共感」ベースの話か？『理解』を促すための話か？を区別する事が必要です。

<「共感」的情報の一例>

・フォロワーが多い人の発言、みんなが沢山「いいね」している、だからいい話に違いない！

⇒理由が「みんなが」いいって言ってるから。自分の判断ではない周囲の「共感」

・間違いは誰にだってあるよ、責めるのは可哀相だよ

⇒これも「共感」。解決策に繋がらない

・コイツは責められて当然のことをしたんだ！だから叩かれても仕方ない

⇒他責的な「共感」。一番良くないパターン

<『理解』を踏まえた情報>

・面倒くさい内容であっても、実際に必要な『考え方(ロジック)』や方法論を提示する

・間違いが起こった。それを踏まえて再発を防ぐための『仕組み』を提示する

(“対案”の提示ともいう)

・社会通念上問題がある行動に対し、問題点は何なのか？それは対策が可能なのか？

⇒解決が難しく「どうしようもない」場合もある(これもひとつの『理解』)

こうして例を仕分けて考えてみても

「共感」というのは、非常に手軽に多くの人たちの賛同を得ることができますが

それが必ずしも『必要、かつ筋の通った考え』であるかは別の問題です。

そして、『理解』するというのは「受容・同意」とセットではないということです。

例えば、他者のスタイルや考え方を精査したうえで『自分の考えとは相容れない』ということが分かる事も、これは立派な『理解』です。

「相容れない考え」だからといって、そこに情報の優劣関係があるわけではなく

ただ『分かり合えない考え方がある』という事実がそこにあるだけだと、客観的に評価できます。

僕らは感覚的に、どうしても『理解』と「共感」をセットにして考えてしまいがちですが

ここをしっかりと区別しないと、“自分にとって必要な情報”を選び取るのが難しくなるし

自分と相容れない考えは「異常だ」という解釈になり、無用な論争を生むことになります。

僕自身、相場に対するどんなスタイル・考え方が適しているのかは人によって違いが出るものだと思っているので

自分とは相容れないハイレベルなトレードでも、一つの考え方・方法論としては否定しません。

ただ、それが自分の考え方とは『相容れないもの』として区別する事はします。

それが僕の考えるところでの『相互理解(相容れなくても、その在り方を否定はしない)』というスタンスです。

この『共感と理解の区別』が出来るようになると、Twitter上での情報収集面においても

非常に役立つ筈ですので、じっくり考えてみて貰えたらと思います。